

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	白男川 尚・石岡和志	開講期	3年前期	単位数	1

【授業の主題】

人権尊重、権利擁護、自立支援などについて理解を深め、演習を通じて援助活動の実践に必要な知識と技術を習得することを目標にする。上記の目標達成のため、①相談援助の詳細についてロールプレイング、②ケースカンファレンス・コンサルテーション・スーパービジョンの実践技法、③認知症高齢者の援助、知的障害者の自己決定などソーシャルワークの特徴的事例を教材に、援助の組み立て方を実践的に学ぶことにする。

【到達目標】

ソーシャルワーク演習Ⅰで学んだことを進化させ、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等に総合的に対応できる能力を習得してもらう。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション・グループ分け 人権尊重をテーマに討論する
- 第2回 病院から在宅への退院援助事例を用いた相談援助の詳細についてのロールプレイング
- 第3回 前回のロールプレイングのふりかえりを行いながら情報を整理する
- 第4回 認知症高齢者の援助事例を用いた事例検討 ～ケアプランの模擬作成～
- 第5回 認知症高齢者の援助事例を用いた事例検討 ～ケアプランの説明場面～
- 第6回 知的障害者の援助事例を用いた事例検討 ～自立支援法の制度とサービス利用～
- 第7回 知的障害者の援助事例を用いた事例検討 ～前回作成した援助計画の説明場面～
- 第8回 児童虐待への援助事例を用いた事例検討 ～アセスメント～
- 第9回 児童虐待への援助事例を用いた事例検討 ～アセスメント票を用いたグループ討論～
- 第10回 判断能力の低下したサービス利用者の自己決定、権利擁護についてのグループ討論
- 第11回 グループ討論結果を報告し、全体で討論する
- 第12回 ケースカンファレンス場面のロールプレイ
- 第13回 コンサルテーション場面のロールプレイ
- 第14回 スーパービジョン場面のロールプレイ
- 第15回 演習のまとめ ～学習成果のふりかえり～

【授演習業実施方法】

演習

【授業準備】

教科書をよく読んでください。

【主な関連する科目】

出席状況、レポート・ロールプレイ等への参加態度により総合的に評価する。

【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

【参考文献】

その都度紹介する。

【成績評価方法】

課題提出 20%、授業態度・出席状況 80%より総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。